

豊岡市

西気地区地域づくり計画

「西気“新”がっせえ化計画」

「人と自然と。未来へつなげる故郷づくり」を目指して



令和4(2022)年 3月

西気明日のいしずえ会

西気地区地域づくり計画 「西気“新”がっせえ化計画」策定にあたって

日頃は西気明日のいしずえ会の活動にご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

平成29(2017)年度から豊岡市が進めるコミュニティ組織を、西気はモデル地区として平成26(2014)年度に発足しました。公民館事業から地区振興、福祉関係等の事業を行っていく中で人口減少、高齢化という環境変化があり、西気明日のいしずえ会を持続可能な体制に見直す必要が出てきました。

ビジョン策定に当たり、小学生会議、中・高校生会議、地区の様々な立場の方との意見交換会、アンケートを実施しました。その中で、『西気 of 自然を残したい』と訴えた小学生、『近所のおばちゃんが、野菜摂れたと持ってきてもらえるのが良い』と言った高校生等、子ども達の感性に嬉しくなる場面もありました。多くの方が、西気の方が好き、西気 of 自然が好きと感じておられ、これは未来に繋げなければならない財産だと改めて感じたところです。

コミュニティ組織になり新たな事業も取り組んでいます。敬老会、大根プロジェクトもその一つです。また子育て支援として、クリスマスサンタ、区長会による西気グラウンドに遊具設置、コミセンに駄菓子屋をオープンしました。これらは役員・部員の意見もありますが、住民の皆様の声の形になっています。クリスマスサンタを始めて4年が経過しました。当初小学生以下の子どもは31人でしたが昨年末は38人になり、地区全体で子どもを育てるという取り組みにより、子どもの数が増えていくと信じています。今後も西気で子育てをしたいと考えて頂ける方が増える事を願っています。

西気明日のいしずえ会の目的に、『西気地区の情報発信と共有化を図り、西気地区の課題を発掘し、その解決を図る』と掲げています。これまで情報発信、地区の困りごと解決は取り組みかけたものの具体的な形になっておらず、令和4(2022)年度から少しずつ形にいきます。

今回の新がっせえ化計画は、平成26(2014)年のがっせえ化計画も振り返り策定していますが完成形ではなく、『人と自然と。未来へつなげる故郷づくり』を未来像とし、これから皆様のご意見を反映していき、家族・地区の絆の大切さを変えることなく、環境変化に対応してやり方は変えていき、今以上に温かみのある地区へと皆様と共に作り上げていきたいと考えています。皆様のご意見、積極的な参加を宜しくお願い申し上げます。

令和4(2022)年3月

西気明日のいしずえ会
会長 田原 宏二

目次

第1章 基本的な事項

1. 西気地域づくり計画「西気“新”がっせえ化計画」の策定について ----- 3
2. 西気地域づくり計画「西気“新”がっせえ化計画」の対象範囲 ----- 4

第2章 西気地区の現状と問題点・課題

1. 地区の現状 ----- 5
2. 西気明日のいしずえ会の取組み状況 -----11
3. 西気地区「西気“新”がっせえ化計画」策定ワーキング-----12
4. これまでの取組み検証とニーズ把握 -----14
5. 西気地区における地域づくりの問題点・課題 -----19

第3章 西気地区の将来像

1. 西気地区の将来像 -----20
2. 未来へつなげる3つの柱（将来像実現のための方針） -----20

第4章 将来像実現に向けて必要な取組み

1. 人とつながる（住民・住民自治） -----21
2. 暮らしを支える（生活環境） -----22
3. 自然の恵み（産業、文化、自然環境） -----23
4. 次期（2025年～）新規取組み（案） -----24

第5章 キックオフ事業(試行的事業の実践) -----25

第6章 計画の推進体制と点検評価 -----26

第7章 今後の課題

1. 残された課題-----26
2. 西気“新”がっせえ化計画策定後に進める検討事項（例） -----27

第1章 基本的な事項

1. 西気地域づくり計画「西気“新”がっせえ化計画」の策定について

豊岡市では、旧地区公民館の区域を基本に、全29地区で地域コミュニティづくりを進めています。

地域コミュニティづくりは、若者から高齢者まで、男性も女性も、多様な住民が参画しながら地域の未来を見据えて住民自治を進める取り組みです。

また、地区公民館は平成28(2016)年度に廃止し、平成29(2017)年度からは一斉に「コミュニティセンター」へ移行し、地域コミュニティ組織の活動拠点と位置づけ、住民自治の拠点として生まれ変わりました。

西気地区においては、平成26(2014)年3月に「西気がっせえ化計画」を策定し、地域コミュニティ組織設立後の初期段階の活動計画と位置づけ、その推進体制として平成26年(2014)年7月に西気明日のいしずえ会を設立しました。

平成26年(2014)年作成の当初計画は、公民館と西気明日のいしずえ会が併存する中、当時の公民館事業を除いた取り組みについて検討し策定したもので、豊岡市が掲げる文字通り“新しい地域コミュニティ”の取り組みとしてスタートしたものです。

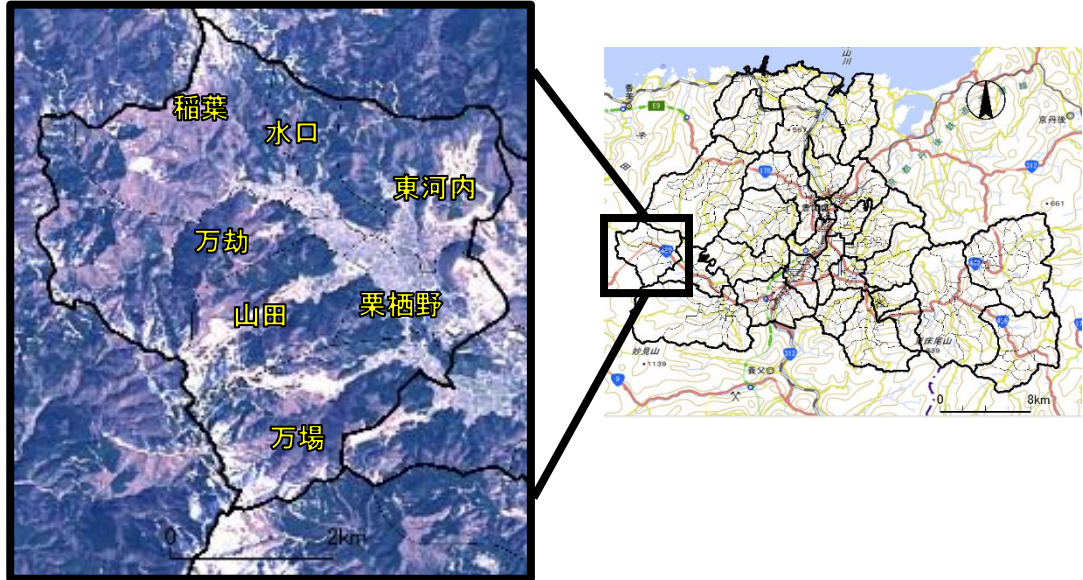
一方で、平成29(2017)年度から地域コミュニティが本格始動し、多くの旧公民館事業を継続しながら、当初計画に沿った取り組みも実践してきましたが、本格始動から3年が経過し様々な点で見直しや検証が必要となりました。

このことから「西気地区が西気地区として活動し続けるための”より良い”地域づくり」を合言葉に、令和2(2020)年7月から、西気“新”がっせえ化計画策定検討委員会を立ち上げ、西気地区の資源や課題を改めて見つめなおし、今後の活動や事業、組織運営の方向性等を示す、西気地区地域づくり計画「西気“新”がっせえ化計画」を策定することになりました。

2. 西気地域づくり計画「西気“新”がっせえ化計画」の対象範囲

本計画の範囲は西気地区コミュニティセンター(西気地区を構成する7行政区)の範囲とします(図表 1-1)。

西気地区内の7行政区の基礎情報は図表 1-2 のとおりです。



図表-1-1 西気地区の範囲と行政区

※国土地理院地図(標準地図、電子国土基本図(オルソ画像))と国勢調査区画図から作成

図表 1-2 西気地区の各行政区の基礎情報 (2021年9月 検討会委員調べ)

※人口及び高齢化率は住民基本台帳(2021.3末)より

地区の情報とりまとめシート(区・町内会版)

2021.9検討会委員調べ

	地区全体	万場	栗栖野	山田	万劫	稲葉	水口	東河内
人口(2021年現在)	626	117	152	116	37	48	33	123
高齢化率(参考値)	42.1%	40.2%	42.7%	40.3%	57.9%	32.7%	41.7%	43.3%
世帯数(2021年現在)	233	40	61	41	15	15	13	48
隣保数(2021年現在)	23	4	6	4	-	3	2	4
ひとり暮らしの軒数	34	6	6	6	2	1	3	10
空き家の軒数	18	1	5	0	5	2	4	1
営農組合の有無	0	-	-	-	-	-	-	-
自主防災組織の有無	7	万場区自主防災	栗栖野自主防災組織	山田区防災会	万劫防災隊	稲葉区自主防災組織	水口防災会	東河内防災会
サロン等の取組み有無	7	有	有	有	有	有(いっぶく会)	有	有

※人口及び高齢化率は住民基本台帳(2021.3末)より

第2章 西気地区の現状と問題点・課題

1. 地区の現状

(1)西気地区の概要

西気地区は、明治29年まで気多郡に属し、その郡の西部にあったことから「西の下」と呼ばれていました。同地区にはアウトドアスポーツのメッカの神鍋高原があり、四季を通じてスキー、テニス、ゴルフ、パラグライダーなどを楽しむため多くの人々が集まります。また、火山活動のあった神鍋山から噴出した火山灰「黒ぼく」を利用して、野菜づくりが盛んに行われ、キャベツやスイカなどが京阪神に出荷されています。(豊岡市 2008「豊岡の宝探し」)。

図表 2-1 西気地区の自然、文化財

名称
神鍋山(噴火口・スコリア層・風穴)、大机山(神鍋スキー場発祥の地)、蘇武岳、大杉山、三川山
一つ滝、二つ滝、俵滝
天神社のトチノキ
神鍋民謡保存会 «そうだろ節»
岩倉古墳群

図表 2-2 西気地区の主要な施設

名称	所在地
西気グラウンド、西気体育館、神鍋高原カントリークラブ	東河内
道の駅「神鍋高原」、ゆとろぎ、アップ神鍋	栗栖野
ブルーリッジホテル	栗栖野
神鍋駐在所	栗栖野
西気地区コミュニティセンター、アウトワードバウンド協会関西校	東河内
奥神鍋スキー場	山田
稲葉浄水場	稲葉
神鍋高原万場スキー場	万場

図表 2-3 西気地区の方の主な公共交通、買い物、医療、福祉情報(2021年11月現在)

バス運行回数	平日 13 往復/日(全但バス・神鍋線)
最寄りのスーパー、食料品店 ()は車で片道時間	フレッシュバザール日高店(20分) 道の駅「神鍋高原」(3分) ナカケー村岡店(20分) ローソン豊岡神鍋高原店(5分) ※ガンピー移動販売(毎週月・木曜日)
最寄りの病院	神鍋診療所
最寄りの福祉施設	日高西ディーサービス・たじま荘・リガレッセ・ハニーサックル

(2)西気地区内の行政区について

西気地区の7行政区の特徴を次のとおり整理しました。

□万場区

万場区の村社は学問の神様菅原道真公をお祀りしている天神社です。天神社の周りには珍しい樹木や植物が生息しており、環境緑地保全地域に指定されています。万場区では区のシンボルとして天神社の改修や整備に力を注いでおられます。天神社にまつわるお話の大型絵本も令和2年に制作されました。



□栗栖野区

栗栖野区には、神鍋山(標高469.5m)があります。2万2千年前の噴火によりできたスコリア層は、今でもその様子がわかる貴重な場所です。また、噴火でできた風穴は一年中、平均気温が8℃で保たれており、以前は、天然の冷蔵庫として各民宿が西瓜や野菜、ビールなど屋号を敷き詰め、保存していました。



□山田区

山田区の村社三柱神社の境内には善台寺という尼寺がありました。240,50年前に炎上しましたが、その尼寺には、明治10年ごろ寺子屋が開設され、これが西気小学校の前身となっています。境内に祀られている吉野権現は鳥取県の春米(つきよね)権現から勧請した安産の神様です。主人たちが家を空ける機会が多かっただけに、留守中のお産の無事を祈った行商の遺物と思われる(日高広報S41年より)。

□万劫区

自然豊かな万劫区には、NHKの朝の連続テレビ小説「ふたりっ子」のオープニング映像に使われた神鍋溪谷の二ツ滝があり、栃が谷平のアスナロ群生林は県の天然記念物に指定されています。また、京都南禅寺法堂の再建の際に、通り柱の1本に万劫区の大ケヤキが使われています。

□稲葉区

平成15年に国道482号線蘇武トンネル(延長3,692m)が完成し、西の玄関となりました。蘇武トンネル工事で悩まされた湧水は新稲葉浄水場の水源となっており、平成16年7月から使用を開始しました。区内の花グループが日高町の西の玄関を花で彩る活動を続けています(日高辞典より)。

□水口区

水口区には大イチョウと薬師如来にまつわる伝説が残っています。薬師如来の告げにより大イチョウの下に立てられたお堂に、薬師如来、大日如来と日光菩薩と月光菩薩をお祀りし、現在も5月7日に大圓寺住職による法要を行っています。また、八坂神社にはケヤキやアスナロの巨木が立っていて、ケヤキの木の空洞には今もフクロウがひなを育てにやってきます。

□東河内区

大机山(おつくえやま)は大正12年に神鍋で初めてスキーが紹介されました。また昭和46年に神鍋高原カントリークラブがオープンし、多くの区民がゴルフ場で働きました。大机山から神鍋山裾に続く丘陵地にはペンション村が形成されており独特の高原風景を見せています。江原駅の待合室の壁面にもこの風景が描かれています(日高辞典より)。

図表 2-4 は各行政区の現在の年間取組みを整理した表です。それぞれの区で様々な取組みが行われており、先に示した各区の基礎情報も踏まえ、いかに地域の自治運営や資源・魅力を将来に継承していくかの検討が必要と言えます。

図表 2-4 西気地区の7行政区の年間取組み

年間行事等	万場	栗植野	山田	万幼	稲葉	水口	東河内
4月	いげ堰日役 ミズの会初寄合 い・春のお食事 会 総会		通常総会 いげ堰	総会・日参 ラジオ体操 おひまち	総会	秋葉講 総会	市民農園開園式
5月		お講 総会	花まつり	クリーン作戦 ラジオ体操 日参	クリーン作戦	堂・宮掃除日役 薬師祭	
6月	いきいきサロン 花植え	クリーン作戦		ミズの会花植え ラジオ体操 日参	河川草刈り	クリーン作戦	クリーン作戦 さなぼり祭り
7月	クリーン作戦 農地保全の会生 き物観察		クリーン作戦	ラジオ体操 日参			秋葉祭
8月	市民防災訓練 (天神社清掃) 草刈日役 地蔵盆(特に行 事は無いが清 掃、飾りつけ等) 天神社清掃	地蔵盆	区民交流会	ラジオ体操 日参	防災訓練	盆清掃日役 防災訓練	八朔草刈り日役
9月		区 敬老会		ラジオ体操 日参			
10月	秋祭り(子ども神 輿・餅まき等) 伊勢代参	秋祭り	秋祭り	秋祭り ミズの会花植え ラジオ体操 日参	秋祭り	祭清掃日役 秋祭り	秋祭り
11月	感謝祭 ミズの会秋のお 食事会 いきいきサロン 花植え			ラジオ体操 日参		清掃日役 秋葉講	市民農園収穫祭 区敬老会
12月	天神社清掃			日参			総会
1月	新年挨拶・(拝殿 参拝・新年会	年始	年始挨拶	日参 年始	年始	年始	年始 どんど焼き
2月	賦銭割・慰労会 総会			日参		総会	
3月	ミズの会お食事 会	伊勢参り 初午	涅槃さん	日参	伊勢講		伊勢参り 観音講 総会

2021.9 検討会委員調べ

(3)西気地区を単位とする団体や取り組み状況

図表 2-5 は、西気地区を単位とする団体や取り組み状況を整理した表です。その中から、西気地区ならではの特徴的な団体・取り組みを簡単にピックアップして紹介します。

図表 2-5 西気地区を単位とする主な団体や取り組み状況

地域内の活動(コミュニティ以外も)	内容	実施団体名
福祉	西気地区敬老会	西気明日のいしずえ会(きずな部)
	住民の健康づくりをサポートする	健康推進委員
	集って交流	老人会
	地域住民の見守り	民生児童委員、福祉委員、民生児童協力員
	支え合い通所サロン	出石愛の園
環境保全	神鍋高原オープンガーデンフェア	神鍋高原オープンガーデンフェア
	山野草を愛でる会 定例会月1回	神鍋山野草を愛でる会
安心・安全	西気いこいの広場	西気地区区長会
	消防の活動	消防団(17, 18分団)
	地域まつりのみまわり	豊岡市防犯協会神鍋支部
	夏休み顔見知りラジオ体操	西気地区青少年育成町民会議
	災害時の炊き出しなど	日赤奉仕団
	防災出前講座	西気明日のいしずえ会(みまもり部)
	救急救命講習会	西気明日のいしずえ会(事務局)
	冬季の除雪作業	神鍋観光開発
子育て・教育	西気サンタ	西気地区区長会、西気明日のいしずえ会(事務局)
	ちびっ子カーニバル	子連協の行事(みまもり部)
文化・スポーツ	ハイキング、運動会	西気明日のいしずえ会(ひとづくり部)
	写真コンテスト	西気明日のいしずえ会(ひとづくり部)
	西気村史の発行	西気明日のいしずえ会(西気村史編集プロジェクト)
	歴史資料館整備	西気明日のいしずえ会(西気村史編集プロジェクト)
	スポーツクラブ21(ラージ卓球、レッツスポーツ、スポーツ太鼓)	スポーツクラブ21にしき
	神鍋火山太鼓	神鍋火山太鼓
	神鍋ジュニアスキーチーム スキー練習、大会に出場	神鍋ジュニアスキークラブ
	各区の言い伝えの絵本作り	西気明日のいしずえ会事務局、地域の有志
地域外との交流等	イベント、ふれあいの集い(花火大会)	道の駅「神鍋高原」、日高神鍋観光協会、ブルーリッジホテル
	大根プロジェクト(収穫祭:収穫体験)	西気明日のいしずえ会(むらづくり部)
広報・情報発信	たより、ホームページ	西気明日のいしずえ会、道の駅「神鍋高原」、日高神鍋観光協会
その他	干し柿、たくあん、干し大根、柿渋体験	(地域の方に伝承してもらう)

□ 山野草を愛でる会の紹介

平成20(2008)年道の駅で発足から13年間、3月から11月まで月2回の定例会を開催。基本は神鍋の自然の恵みを愛おしみ自然環境を保護することを肝に銘じて活動します、会員は因幡～丹後迄の会員30人が集い 楽しんできた約千種の展示会、絶滅危惧種を囲いをして守り、啓発活動をしています。地域活動では西気花巡りの案内役を7年シリーズで継続中です。

□ 神鍋火山太鼓の紹介

神鍋には色々な風が吹いていて、その風に乗せて音楽を届けたい。また、そんな風に恋して神鍋に来てほしいという思いを込めて「風恋」というグループ名がついています。スポーツクラブ21のスポーツ太鼓として毎週水曜日に練習、金曜日に神鍋火山太鼓として練習しています。一緒に活動する人も募集しています。

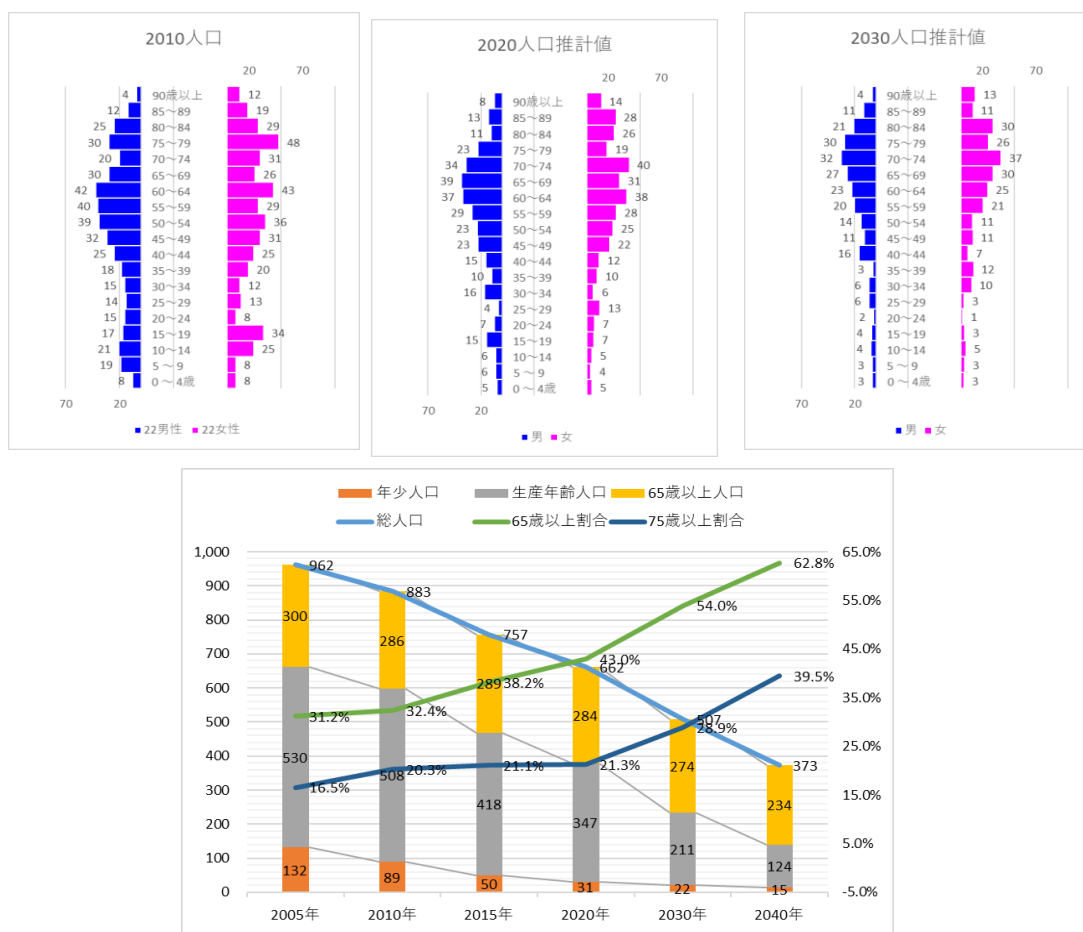
(4)西気地区の人口と将来推計

図表 2-6 は西気地区の2010年、2020年、2030年(推計)の人口ピラミッドと2005年から2040年(推計)までの人口構造を示したグラフです。

2013年 3 月に西気小学校は閉校し、清滝小学校と統合しました。このことから、特に西気地区をあげて子育て事業等を進めているところですが、今後ますます少子化・高齢化が進むことが見込まれます。

また、各行政区の状況においても、区単位での活動において、例えば区内の子ども、若者が少なくなる中、当該区に生まれたがために機会が無くなったり、高齢化が進む中これまでどおりの区の運営ができなくなる区も予想されます。

このことから、区同士が連携した取り組みや、西気地区の活動において各区一律ではなく平準化する仕組みや、西気明日のいしずえ会で事業を引き受けていく必要も出て来ることが考えられます。地域の課題解決や地域の魅力・資源を将来へ繋ぐため、時代にあった形の住民自治運営の検討が必要と言えます。



図表 2-6 西気地区の人口ピラミッド(上段)と人口構造(下段)
豊岡市人口ビジョン2020より

2. 西気明日のいしずえ会の取組み状況

西気地区では、平成26(2014)年3月に西気地区活性化計画「西気がっせえ化計画」を策定し、地域コミュニティ組織設立後の初期段階の活動計画と位置づけました(図表 2-7)。

そして、計画の推進体制として平成26(2014)年7月に西気明日のいしずえ会を設立しました。

図表 2-7 平成26(2014)年作成の西気がっせえ化計画

豊岡市西気地区活性化計画

西気で暮らす幸せをもっと増やすために、私たちができることを考えました。お金があれば「できること」はたくさんありますが、まずは私たちに「できること」から一つ一つ...

目標 おかえり、ただいま。西気の風景や人に
どんな幸せをかけるか考えるようにな
りたくなる。地産を柱として

人とつながる	暮らしを支える	自然の恵み
「ふれあい」促進 「プロジェクト」企画 スタッフ探ししよう	「ごきげん西気暮らし」 老人ホームを開設しよう 神楽舞いにもっと乗ろう	パースポットマップ をもっと増やそう 花壇コンテストを開催
ご当地グルメや 郷土料理を研究しよう 試食会を開催しよう	お年寄りにかかるとい う問題を教えてもらおう 子供教室でプロジェクトも	7地区別 花壇コンテストを開催 実施しよう
西気小学校に 児童スペースを 確保しよう	高齢者の見守り事業 窓の黄色い旗 プロジェクト実施	神楽舞いから始める 田舎スポーツを 開催しよう
西気図書館イベント から定期的に開催を 目指そう	西気地区の緑道の 加工など「西気」の 商品開発もしよう	花壇コンテストを 地域の観光行事に 育てて観光の柱に
ふれあい館通商で まちのイベントなど まちの支那行事に	ふれあい館通商で まちのイベントなど まちの支那行事に	体験活動とさまざまな 交流の場を創出して 豊かな農村に
地域の人の出会いの場 になっていきなり 取り戻そう		森林資源を活用して 観光ツアーを 開発しよう

こんなアイデアが!

西気地区活性化計画
策定に協力しました。

0796-46-1316 (西気地区公民館)
Email: nishikichu-cd@city.soyogaki.syo.lg.jp

計画策定後は、旧公民館から続く伝統的な活動を継続しつつ、西気がっせえ化計画に示した活動を実施してきました。一方、活動を進めていく中で、西気地区住民のニーズの変化等から新しい活動も始まり、活動内容や組織運営方法を少しずつ見直していく必要が出てきました。



▲大根プロジェクト (地域振興)



▲敬老会 (福祉)



▲西気サンタ (子育て支援)



▲ふれあいの集い (異世代交流)



▲ふれあいカフェ (地域住民の交流)

3. 西気地区「西気“新”がっせえ化計画」策定ワーキング

西気“新”がっせえ化計画策定に向けて策定検討委員会を設置しました(図表 2-8)。また、策定に向けて14回にわたる検討委員会を開催してきました(図表 2-9)。

図表 2-8 西気“新”がっせえ化計画策定検討委員名簿

名前	委員長に◎	行政区名	備考 (主要な役職等)
田 中 貴	◎	万場	みまもり部
田 原 宏 二		水口	会長
下 垣 春 樹		栗栖野	副会長
中 島 万 佐 代		稲葉	副会長
飯 田 杏 奈		東河内	副会長
松 瀬 晴 彦		万劫	ひとづくり部
玉 城 正 彦		東河内	きずな部
北 村 政 明		山田	むらづくり部
藤 本 怜		東河内	会長推薦
水 口 卓 也		水口	区長会
北 村 照 幸		東河内	第7回まで (区長会)
新 田 聖		万劫	第8回から (区長会)
時 大 和		豊岡市社会福祉 協議会	

図表 2-9 西気“新”がっせえ化計画策定検討委員会検討内容

	日にち	主な検討内容
第1回	2020年7月9日	西気について思っていること
第2回	2020年8月6日	前回は具体的に。不安・危機感・プライド・困りごと・したい事など
第3回	2020年9月10日	小中高校生会議報告。今後のスケジュールについて。目的について。
第4回	2020年9月24日	意見収集について
第5回	2020年10月9日	意見交換会について
第6回	2020年12月7日	意見交換会まとめ・今後の進め方・アンケートについて
第7回	2020年12月23日	アンケートについて
第8回	2021年4月19日	アンケート結果・今後の進め方
第9回	2021年5月13日	目的(将来像)について
第10回	2021年6月14日	目的(将来像)決定 取り組みアイデアの抽出
第11回	2021年7月12日	キックオフ事業の企画・選定について
第12回	2021年8月19日	事業の整理・各区の情報収集
第13回	2021年10月7日	向こう10年間の事業計画の確認
第14回	2021年12月9日	西気“新”がっせえ化計画 素案(イメージ共有)

4. これまでの取組み検証とニーズ把握

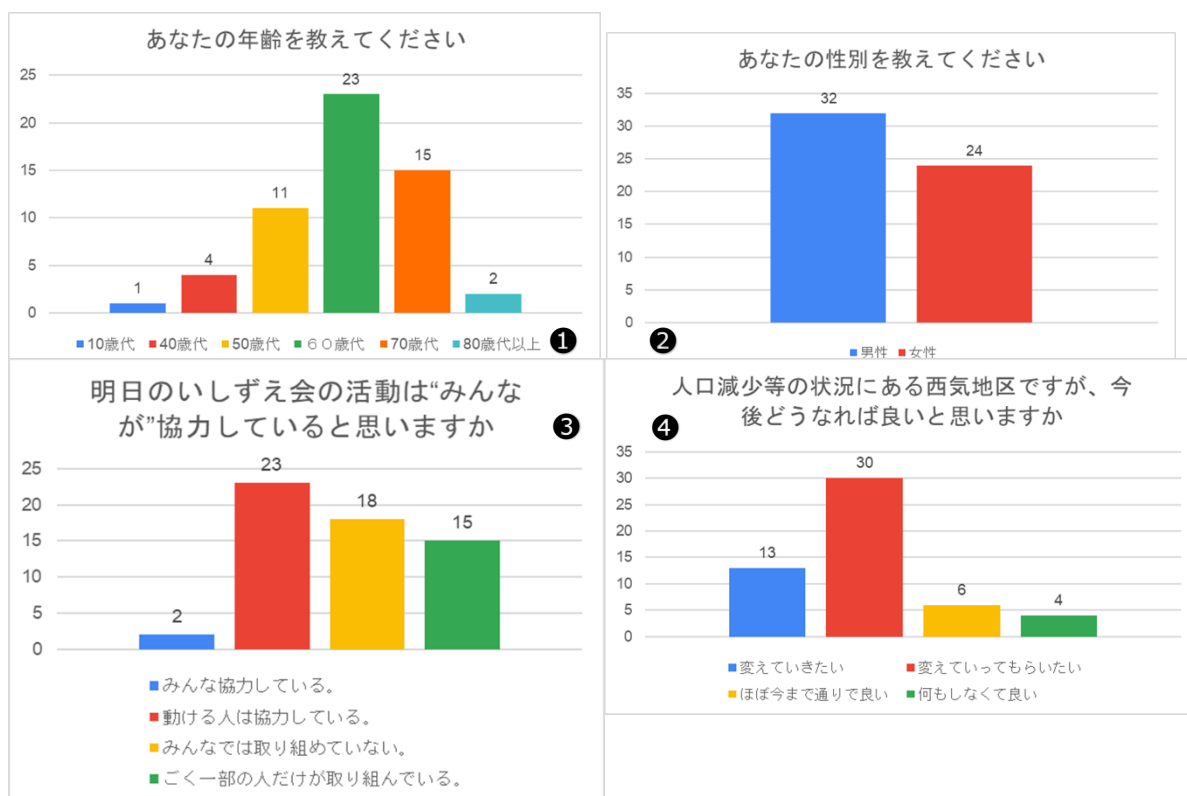
(1) アンケート結果

広く西気地区住民のニーズ把握を行うため、図表 2-10のとおり、西気地区の全世帯を対象としたアンケート調査を実施しました。今回、回答率が低く、また回答した年代に偏りがあるものの、住民ニーズを把握する貴重な資料として、本計画を方向づけや西気地区での取り組みの参考とさせていただきます。

図表 2-10 アンケートの実施状況

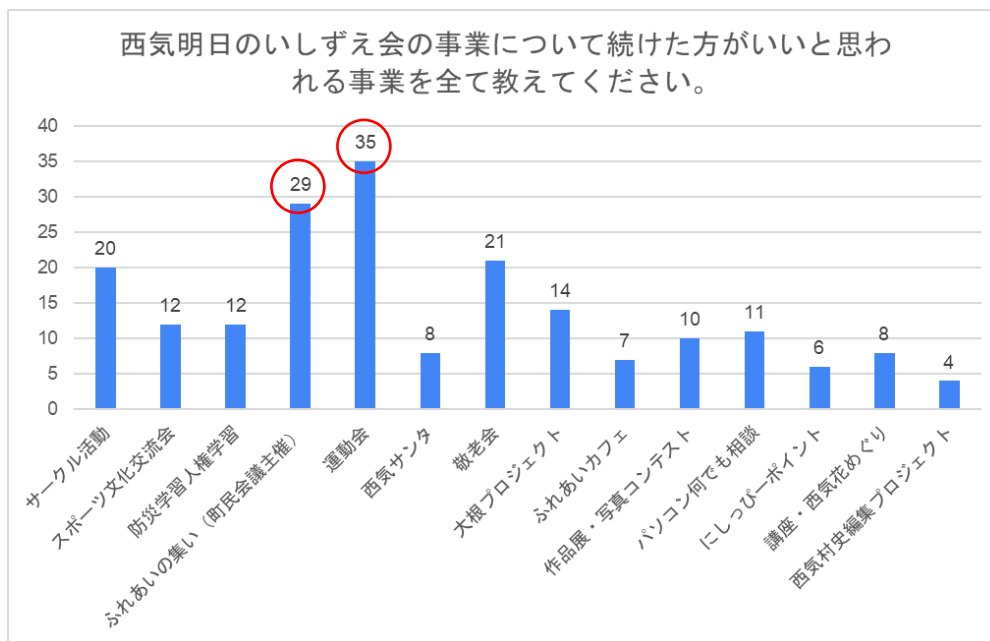
調査期間	2021年1月25日～2月15日
配布対象	西気地区の全世帯(233世帯)
回答数	57件(回収率24.5%)

今回のアンケート調査の回答者の属性には、回答した年代に偏りもあり、多様な年代からの聞き取りも引き続き必要と言えますが、地域コミュニティ活動は協力的に進められているとは言い難い回答が相対的に多かったです。また、現在の西気地区の人口減少等の状況下において、やり方を「変えていきたい」「変えていてもらいたい」という回答が多く、みんなが無理なく協力できる仕組みを今までとは異なるやり方に変えていくことが、回答者からは望まれていると推察できます(図表 2-11)。

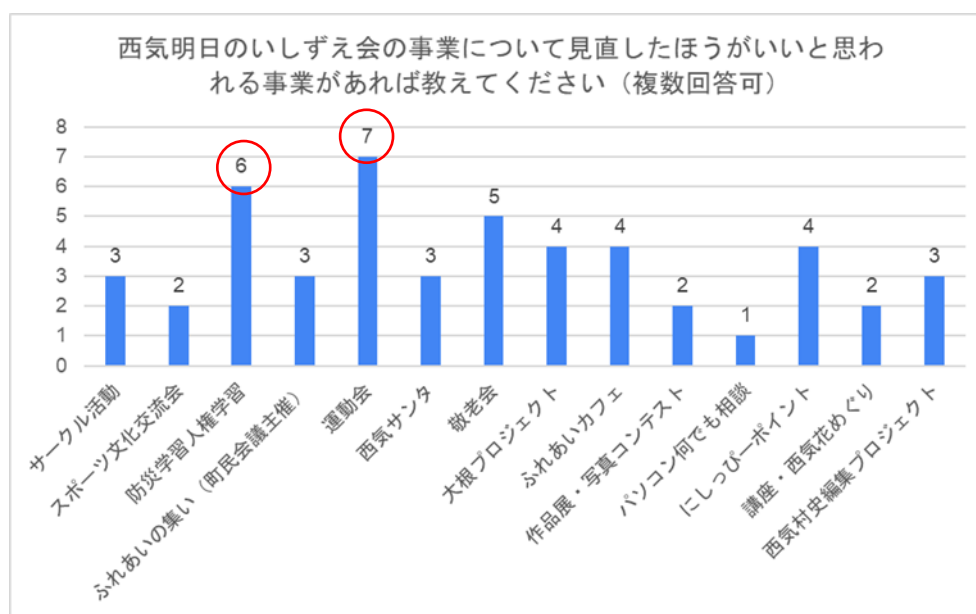


図表 2-11 回答者の年代(①)、性別(②)、コミュニティ組織の協力度合(③)、西気地区の今後の住民自治の改善意向(④)

図表 2-12は、西気明日のいしずえ会の事業で続けた方が良いもの、図表 2-13は西気明日のいしずえ会の事業で見直した方が良いものを示したグラフです。運動会、ふれあいの集いといった、区ごとに分かれ西気地区全体で行う事業の継続意向が強い一方、運動会は見直し意向も強く、地区の状況に合わせて内容を見直し事業継続することが必要と言えます。

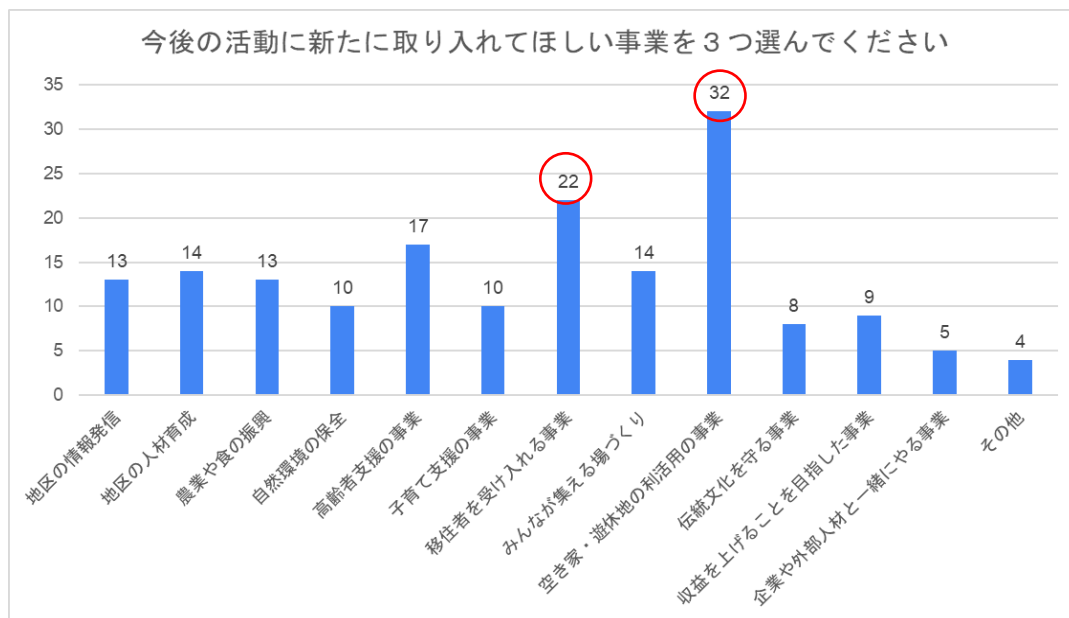


図表 2-12 西気明日のいしずえ会の事業で続けた方がよいもの(複数回答可)



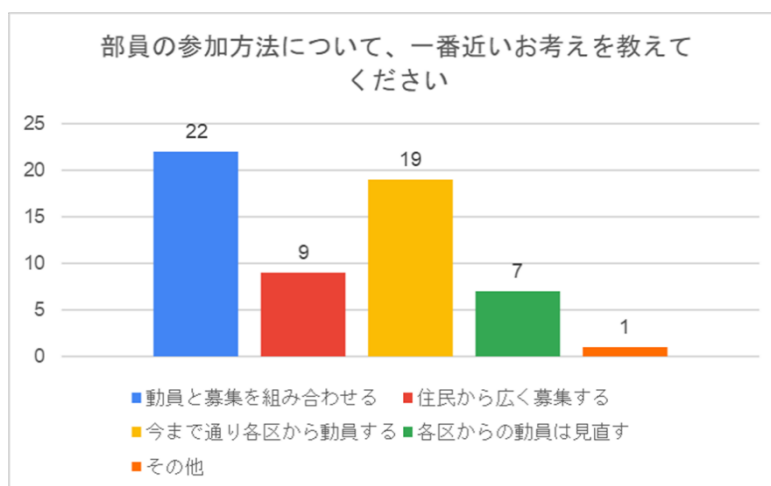
図表 2-13 西気明日のいしずえ会の事業で見直した方がよいもの(複数回答可)

図表 2-14 は、西気明日のいしずえ会が今後取り入れてほしい事業を示したグラフであり、「移住者の受入」「空き家・遊休地の利活用」が他の項目よりも相対的に回答が多く、このことから人口減少、少子化・高齢化により、西気地区の現居住者のみならず多様な主体の参加推進や、遊休資源の保安全管理に関心が深いことがうかがえます。



図表 2-14 西気明日のいしずえ会の事業で見直した方がよいもの(複数回答可)

図表 2-15 は、西気明日のいしずえ会の部員の選出方法を示したグラフであり、「選出と募集を組み合わせる」「今まで通り各区から選出する」という回答が相対的に多く、区からの選出の必要性は高いと言えます。一方、「広く募集」と「各区からの選出を見直す」の回答も一定数あり、部員の派遣方法や役割の再考が必要と言えます。



図表 2-15 西気明日のいしずえ会の部員の参加方法

(2) 意見交換会

西気地区住民から具体的な様々な意見を聞くため、図表 2-16のとおり、地区内の各主体に参加いただき、意見交換会を通じて地域住民のニーズ把握を行いました。

図表 2-16 意見交換会の実施状況

実施日	令和 2(2020)年10月29日、11月12日、11月26日
対象者	西気地区内の各種団体等に所属する方
参加者数	3 日間のべ40人
意見交換テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西気地区の良いところ ・ 西気地区の問題点 ・ 西気地区でこんなことを「したい」「してほしい」「すべき」 ・ こんな人に関わってほしい、「自分はこれができる」こと

意見交換会で得られた意見とアンケートの記述欄から得られた意見から、図表 2-17のとおり西気地区の良い点、問題点について検討会で分類整理しました。

図表 2-17 意見交換会及びアンケートの記述回答の意見整理表
(西気地区の良い点、問題点の主なもの)

タグ②←大分類整理	タグ①←中分類整理	主なコメント(フセン)	
		良い点	問題点
産業・文化	観光	スキー・アウトドアの拠点	施設老朽化、観光客の減、民宿の減(一部の人の業に)
産業・文化	仕事	観光地であるので多くの人の流れ	仕事が少ない
産業・文化	情報発信	神鍋高原という高い知名度	情報発信不足
産業・文化	食・農	野菜・お米がおいしい・加工文化	獣害、農地の荒廃
産業・文化	文化財	ヤチャ・そうだろ節があつてよい	—
自然環境	自然環境	自然が豊か、星がきれい、高原がある、田園風景が広がっている など	冬が寒い、雪が多い、土砂災害、自然活用ができてない
住民	担い手	—	全てに後継者不足、若い人が少ない、人が少ない
住民	人間関係	親切、声をかけてくれる、子どもの芯が強い	知り合いだらけ、近所の目が強い
住民自治	人間関係	子ども達が小さいときには色々な行事	地区にもっと関心を持ってほしい、外部から入りにくい空気、若者のニーズに合わない
住民自治	役割	—	個人負担が多い、役が多い、出てこない人が多い、高齢化で集落機能低下
生活環境	買い物・店・施設	—	店がない、公共施設がなくなっていく など
生活環境	交通	道路が良くなった、海・山に行ける、事故が少ない	交通が不便、200円バス問題、通勤時間がかかる、雪道が怖い
生活環境	子育て	子育てに最適	学校がない、学校・教育が不安
生活環境	生活環境	色々な動物に会える、静かで落ち着く など(暮らしの豊かさ)	人が少ないない、冬の大変さ、廃屋、都市部と遠い など
生活環境	地域福祉	高齢者が生き生きして元気	老後が不安、福祉の事業所送迎が難しい、独居が多い

詳細は、「別冊 ジャナル別意見整理表」に示す。

コミュニティビジョン策定・西気村史編集プロジェクトコラボ企画

ビジョンづくりに向けて、西気の子どもの声を聞く機会を設けました。今、西気のこれからを描く作業と西気の歴史をまとめる作業や昔話を絵本にする作業が同時に進んでいます。子どもたちが、西気の歴史にふれ、西気について感じる事、思うことをビジョンづくりにも活かしていきたいと考えています。古きを訪ねて新しきを知る。思いを共有して次代へつなげていきたいと思ひます。

小学生会議 令和2年8月8日(土)・17日(月)

8月8日(土)に6人、8月17日(月)に7人が参加し、保護者や清滝小学校長井上寿人様もお越しいただき、会議の様子を見学されました。

初めに、水口・栗栖野・万場・東河内の手作り絵本の読み聞かせがありました。読み手は地域の方にお世話になり、忙しい中、練習日を設けて子どもたちに読み聞かせていただきました。

その後、輪になり、『にしき』について話合いました。

<すきなところ>

スキーができる

空気がきれい

山がきれい など

<あったらいいな>

<困っていること>

ゴミが落ちている

お店が少ない など



中学生・高校生会議 令和2年8月9日(日)

8月9日(日)、中学生4名、高校生2名、保護者2名が参加し、日高西中学校長加藤博文様にもお越しいただきました。

初めに、小田根厚芳様(栗栖野区)に『神鍋観光物語』という神鍋のスキーの歴史や、観光の移り変わりについてお話いただきました。スキー場の始まりや国体誘致の話など印象深いお話でした。

その後、輪になり『西気』について意見交換しました。

<すきなところ>

近くに自然がある

スキー場が近い

近所の人と仲がいい

野菜が美味しい など

<困っていること>

バスの本数が少ない

動物が出てくる

街灯が少なくて暗い

バス停に小屋が欲しいなど

<これからの西気との関わり方>

一度は都会に住んでみたい・時々帰ってくる大切な所



5. 西気地区における地域づくりの問題点・課題

住民アンケート調査や意見交換会での西気地区住民の声を踏まえ、検討委員会の中で特に良いところ、困りごとについて抽出し、整理しました。

その結果、西気地区内外の住民同士のつながり(住民・住民自治)、西気地区住民同士が暮らしを支える(生活環境)、西気地区の自然の恵みを活かす(産業、文化・自然環境)という3つの視点に整理でき、これらの「良いところ」を活かし持続させていくために、また「困りごと」を西気地区としてどのように向き合っていくかが、西気地区の将来に向けた課題と言えます(図表 2-18)。

住民・住民自治	生活環境	産業、文化・自然環境
<p>良いところ (主なもの) 声をかけてくれる 子どもの芯が強い 親切</p> <p>困りごと (主なもの) 全てに後継者不足 若い人が少ない・人が少ない 個人負担が多い、役が多い 出てこない人が多い 高齢化で集落機能低下 若者のニーズに合わない 外部から入りにくい空気 地区にもっと関心を持ってほしい</p>	<p>良いところ (主なもの) 道路が良くなった、海・山に行ける 事故が少ない 子育てに最適 豊かな暮らしができる 高齢者が生き生きして元気</p> <p>困りごと (主なもの) お店や施設がない 交通が不便、200円バス問題、 通勤時間がかかる、雪道が怖い 学校がない、学校・教育が不安 冬の大変さ、廃屋、都市部と遠い 老後が不安、独居が多い 福祉の事業所送迎が難しい 土砂災害の恐れ</p>	<p>良いところ (主なもの) スキー・アウトドアの拠点 野菜・お米がおいしい・加工文化 ヤチャ・そうだる節があってよい 自然が豊かできれいな風景</p> <p>困りごと (主なもの) 施設老朽化 観光客の減、民宿の減 仕事が少ない 情報発信不足 獣害、農地の荒廃 冬が寒い、雪が多い 自然活用ができてない</p>



西気地区内外の住民同士でつながる (住民・住民自治)
西気地区住民の暮らしを支える (生活環境)
西気地区の自然の恵みを活かす (産業、文化・自然環境)

図表 2-18 西気地区の課題の整理

第3章 西気地区の将来像

1. 西気地区の将来像

「人と自然と。未来へつなげる^{ふるさと}故郷づくり」

西気地区の住民は緩やかでいながら強い絆で結びついています。世代を越えたコミュニケーションの機会を有し、環境を活かした特技を持つ人材の活躍の場もあります。また、そこにある自然は四季折々、人々に多くの恵みをもたらす、彩の変化を感じながらアウトドアやスポーツを楽しむこともできます。そんな「人」と「自然」を活用して、自分たちの意思で未来を創造していくコミュニティを目指していこう、そんな気持ちがこの将来像に込められています。

2. 未来へつなげる3つの柱(将来像実現のための方針)

人とつながる(住民・住民自治)

私たち西気地区住民は、西気地区内外の住民同士との緩やかなつながりや交流を通して、家族のように互いを思い合えるコミュニティづくりを目指します。

- 主なターゲット(特に誰に向けて事業実践するか)
西気地区在住者・出身者、西気地区 7区

暮らしを支える(生活環境)

私たち西気地区住民は、静かで暮らしやすい環境、伝統文化や知恵・知識を未来へ繋ぐため、子どもからお年寄りまで皆で支え合い、誰もが活躍できる地区を目指します。

- 主なターゲット(特に誰に向けて事業実践するか)
西気の子ども(幼稚園～高校生)、西気の一人暮らしの高齢者

自然の恵み(産業、文化、自然環境)

私たち西気地区住民は、豊かな自然・食の安全・安心を守り、次世代へ繋げることを目指します。

- 主なターゲット(特に誰に向けて事業実践するか)
西気の農家、農地を持っている人、西気の小学生、西気の自然に関心の深い人

第4章 将来像実現に向けて必要な取り組み

検討委員会では、将来像と未来へつなげる 3 つの柱をもとに、令和 3(2021)年度までの取り組みの評価とともに、当面[令和 4(2022)年～令和 6(2024)年]実施する事業について、次のとおり検討しました。

1. 人とつながる（住民・住民自治）

西気地区内外の住民同士との緩やかなつながりや交流を通して、家族のように互いを思い合えるコミュニティづくりを目指して、図表 4-1 のとおり、事業を検討しました。

運動会等の継続事業について地区の実情により今後内容について検討を進めながら実施し、生涯学習事業については、住民が提案したりチャレンジできる事業になるように進めます。

また、新規事業として、SNS 等を通じて地区出身者との交流を進め、関係人口の構築を目指します。

人とつながる(住民・住民自治)

2022年～2024年実施事業						
事業名	実施主体	～2021年との比較				見直しや実施の方向性
		継続	新規	見直し	休止	
運動会	ひとづくり部	○				今後、実施内容の検討を図る
ハイキング	ひとづくり部	○				かつてのスポーツ文化交流会
写真コンテスト	ひとづくり部	○				今後、実施主体の調整も検討
資料館整備	西気村史編集プロジェクト	○				
村史の編集	西気村史編集プロジェクト	○				
パソコン何でも相談	事務局+a	○				
SNS等による情報交流	事務局+a		NEW			情報交流による新たな人材発掘
生涯学習講座	事務局+a			○		試行錯誤、チャレンジできる事業へ
人権講演会					○	休止（他事業の中へ要素を含める）

図表 4-1 人とつながる(住民・住民自治)分野の令和6(2024)年までの実施事業の検討結果

2.暮らしを支える（生活環境）

静かで暮らしやすい環境、伝統文化や知恵・知識を未来へ繋ぐため、子どもからお年寄りまで皆で支え合い、誰もが活躍できる地区を目指し、特に子どもや高齢者を対象とした事業を図表 4-2 のとおり検討しました。

新規事業として、防災出前講座を発展させ、各区自主防災組織同士の連携や補完をする防災体制づくりを進め、また子どもたちを対象とした星を見る会では、地域での学びを通じた地域ぐるみの子育てを実施します。

暮らしを支える(生活環境)

2022年~2024年実施事業						
事業名	実施主体	~2021年との比較				
		継続	新規	見直し	休止	見直しや実施の方向性
敬老会（選べるギフト）	きずな部	○				
にしっぴーの取り組み	きずな部	○				今後、方法・やり方の検証
ふれあいカフェ	きずな部+α	○				
健康ポイントの取り組み	きずな部	○				
ふれあいの集い	みまもり部	○				将来は憩いの広場事業へ
西気地区単位の防災体制づくり	みまもり部		NEW			区の連携調整や各区との情報共有
星を見る会	みまもり部		NEW			地域資源を子どもたちへ繋ぐ
キックベースボール	みまもり部	○				
ちびっこカーニバル	みまもり部	○				
グラウンドの利活用・管理事業	区長会	○				
駄菓子屋	事務局	○				
防災出前講座					○	休止（防災体制づくりへ移行）
西気サントがやってきた					○	休止（他事業の中へ要素を含める）

図表 4-2 暮らしを支える(生活環境)分野の令和 6(2024)年までの実施事業の検討結果

3. 自然の恵み（産業、文化、自然環境）

豊かな自然、食の安全・安心を守り、次世代へ繋げることを目指し、特に農作物振興を通じた事業を図表 4-3 のとおり検討しました。これまで大根プロジェクトとしていた事業について、広く農作物栽培を地区住民皆で出来るように考え、西気地区の自然の恵みを享受するように進めます。

自然の恵み(産業、文化、自然環境)

2022年～2024年実施事業						
事業名	実施主体	～2021年との比較				見直しや実施の方向性
		継続	新規	見直し	休止	
神鍋農作物プロジェクト	むらづくり部	○				大根プロジェクトから名称変更
ねぎまつりでの即売会	むらづくり部	○				
清滝小学校・さよたき認定こども園収穫体験	むらづくり部	○				
給食提供・福祉施設配達	むらづくり部	○				
清滝小学校3年生大根づくり	むらづくり部	○				
西気花めぐり	事務局+α	○				今後、実施主体の調整も検討
西気グラウンドの銀杏の活用					○	休止（次期、加工品づくりへ）
干し柿づくり					○	休止（次期、加工品づくりへ）
柿渋づくり・柿渋染め体験					○	休止（次期、加工品づくりへ）
たくあん・ちまきづくり・干し大根づくり					○	休止（次期、加工品づくりへ）
秋の神鍋ウォーキング					○	春のハイキングに変更

図表 4-3 自然の恵み(産業、文化、自然環境)分野の令和6(2024)年までの実施事業の検討結果

4.次期(2025 年～)新規取組み(案)

当面(2022年～2024年)の実施事業のほか、検討会では様々な事業アイデアが検討されましたが、概ね 3 年間を一区切りとして次期[令和7(2025)年頃～]新規取組み(案)を図表 4-4 のとおり整理しました。

なお、次期新規取組み(案)について、当面の実施事業の状況や地域の実情を踏まえて進めます。

図表 4-4 次期[令和 7(2025)年～]新規取組み(案)

未来へつなげる 3 つの柱	次期(2025 年～)新規取組み(案)
人とつながる(住民・住民自治)	<input type="checkbox"/> 空き家調査・集落機能調査[令和 3(2021)年の見直し] <input type="checkbox"/> 協力サポーターの発掘育成 <input type="checkbox"/> 飲み会 <input type="checkbox"/> 良いコイ(鯉)広場で良い恋をしようイベント
暮らしを支える(生活環境)	<input type="checkbox"/> 夏休みの寺子屋(宿題が終わる。先輩先生) <input type="checkbox"/> まごのてプロジェクト(屋根の雪下ろし等) <input type="checkbox"/> 地区住民の憩いの広場(ふれあいの集い+フリマ)
自然の恵み(産業、文化、自然環境)	<input type="checkbox"/> 加工品づくり(保存食づくり) <input type="checkbox"/> 耕作放棄地の活用・花畑 <input type="checkbox"/> 子供が野菜作りを学ぶ(夏休み) <input type="checkbox"/> トラック市

また、検討委員会では次のようなアイデアも検討され、今後の取組み実施状況により必要により実施の検討をします。

- 除雪体験ツアー (スキー場割引チケット付き)
- 笑いを狙った取組み
- ホタルを育てる
- 田植え体験・SNS のフル活用
- 飲食マップ

※その他、意見交換会等の意見を整理した「別冊 ジャナル別意見整理表」も含めて必要により検討を行います。

第5章 キックオフ事業(試行的事業の実践)

検討委員会メンバーを中心に今後の検討の参考とするため、試行的なキックオフ事業として「星を見る会」を企画・実施しました。部による取り組みではなく、地区内の有志による取り組みという新しさと同時に様々な反省点や課題などが見られ、検討委員会メンバーにとっても大きな学びの場となりました。

この「星を見る会」は、豊かな自然を次世代へ繋げる(自然の恵みを感じる/コミュニケーションのツール)を目的とし令和3年(2021年)度3回の実施計画を立て、実施日の前の8月19日「星を知ろう会」を開催しました。その後残念ながら、コロナウイルス感染症の影響を受け、11月6日(土)1回の実施となり、またみなさんへの参加募集のお知らせも10月25日号たよりの掲載や検討委員会の有志による声掛けのみとなりました。

たより

星を見る会開催

日時：11月6日(土) 19:30~21:00

場所：西気グラウンド

持ち物：レジャーシート(イス)・お茶・懐中電灯等

*雨天の場合室内で映像を見て星のお話を聞きます。

暖かい服装でご参加ください。

申込締め切り日:11月1日(月)

冬に見える星座について

講師：飯田浩規さん(東河内区)

参加者:41人

(大人18・こども23)



星が良く見えるように真っ暗に

星を見る時間だけ雲が明け、見る事が出来ました。

天体望遠鏡で星を見ました。



子どもたちは順番に並び覗き込んでいました。

大人も子供も楽しい時間が過ごせました

マシュマロを串にさし起こした火であぶりキャンプ気分。

カップヌードルをみんなで食べて温まり終了。



楽しめる仕掛けづくり

- ・火を囲む
- ・マシュマロを焼く
- ・カップヌードルを食べる

*次回も楽しみながら、子供たちと一緒に学び次世代に繋げられるものにしていく方法を検討していく。

第6章 計画の推進体制と点検評価

西気“新”がっせえ化計画策定においては、検討委員会の設置によりこれまでの取り組み評価、必要な事業の検討を行ってきました。今後も引き続き、西気地区、西気明日のいしずえ会を継続的にマネジメントできるよう、「(仮称)西気“新”がっせえ化計画推進会議(以下、(仮称)推進会議という。)」を設置し、計画の見直しや進捗管理、組織体制の検討、部会等の活動(予算)が西気地区にとって適当か等を検討・検証する P(Plan 計画)D(Do 実践)C(Check 評価)A(Action 改善)を実施していきます。

また、キックオフ事業を通じて事業の課題なども見え、その振り返りや反省会が重要であることがわかりました。このことから、事業ごとにも小さな PDCA を実施し、地域により良い事業が進められるよう努めていきます。

第7章 今後の課題

1. 残された課題

現在の西気明日のいしずえ会の組織図は図表 7-1 のとおりです。各区からの選出による部の構成になっており、区から選ばれなければ部員になれない状況です。アンケートや意見交換会からは、区からの選出により部員(部長)の任期をこなすことが目的化している状況も見られました。

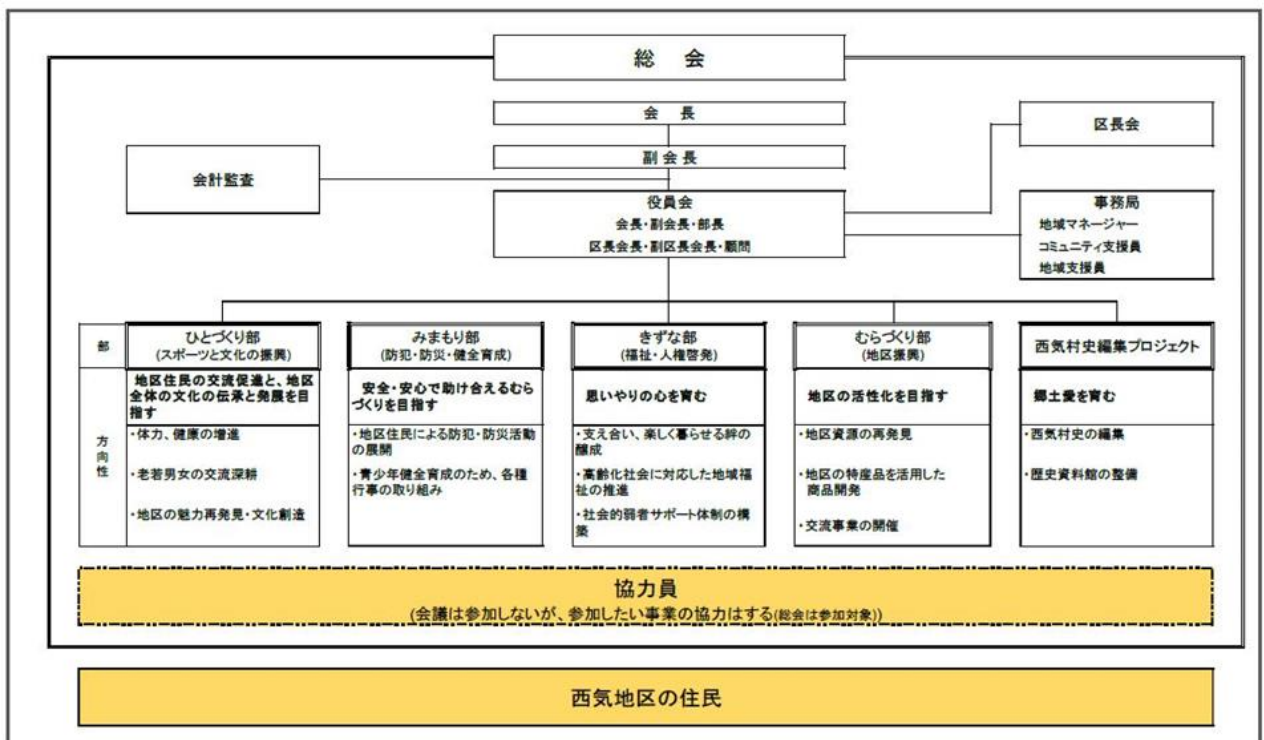
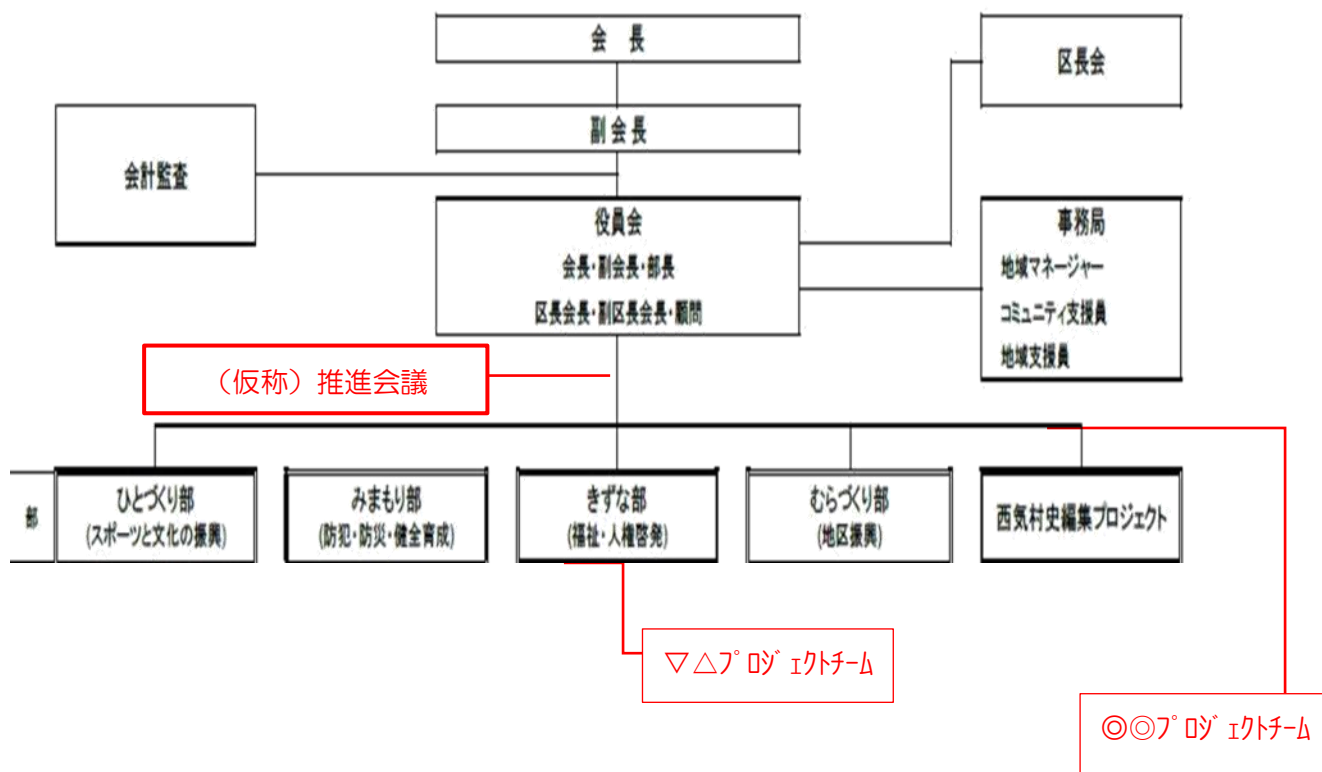


図 7-1 現在の組織図

このことから、現在、部員は各区の派遣のみとしていますが、広く部員として参画できる仕組みの検討や、例えば部とは別に有志によるプロジェクトチームが結成できる仕組みの検討も考えられます(図表 7-2)。このように、西気地区内外の多様な人々が事業に関わることで、地域の課題解決や資源の有効活用等にも繋げる工夫が、今後残された課題と言えます。



図表 7-2 将来の組織イメージ図

2.西気“新”がっせえ化計画策定後に進める検討事項(例)

西気“新”がっせえ化計画策定後、令和 4(2022)年度中に検討が必要と思われる内容を図表 7-2 のとおり例示します。この内容は、役員会及び今後設置予定の「(仮称)西気“新”がっせえ化計画推進会議」の設置初期段階での主要な検討事項になると考えています。

図表 7-3 西気“新”がっせえ化計画策定後に進める検討事項(例)

検討主体	検討事項
役員会	(仮称)推進会議の機能・役割整理
(仮称)推進会議・区長会	部員派遣方法のあり方
(仮称)推進会議・区長会	部長選任方法のあり方
役員会	検討事項に関わる規約、組織図の見直し

豊岡市西気地区地域づくり計画

「西気”新”がっせえ化計画」

令和4（2022）年3月 発行

発行者：西気明日のいしずえ会

企画・検討：西気”新”がっせえ化計画検討会